

八幡台二区だより

平成 29 年 4 月発行
八幡台二区自治会
広報部

第五十回定期総会

八幡台二区自治会・第五十回定期総会が、平成二十九年三月二十六日（日）九時半から、八幡台集会所で開催されました。



決を期待したいと思えます。

一、開会の言葉（副会長・小林祐作）

これより、八幡台二区自治会平成二十八年度総会を開催します。

二、会長挨拶（会長・小林定悦）

定期総会が今日で五十回、半世紀です。改めて自治会活動の重みを感じております。

開催されました。

出席者 四十五

名、委任状提出者百四十六名、合計百九十一名、総戸数二百七十三戸、会員数の二分の一を超えているので総会は成立しました。

定期総会議案書に掲載されている次第通りに進行されました。

また、今回は高齢化問題を中心に意見が交わされました。二十九年度の評議委員会に課題解

今日は具体的に「こうしたらどうでしょうか」という意見をどんどん出して頂いて議事を進行させて頂きたいと思えます。よろしくお願ひします。

三、議長選出（司会・副会長・小林祐作）

選出について意見が無かったので、司会一任ということで二十組の小栗伸二さんお願ひします。

四、議案審議

第一号議案 平成二十八年度事業報告について（議案書 P 4 ～ 7 参照）・各係より報告

総務部

先ほどお配りした「八幡台二区自治会アンケート」がございますけれど、ご意見を聞いてみましょうということでもとめたものがこれです。両面印刷で裏に結果がまとめてありますが、八十歳位までは評議委員の活動をいかなどという答えでした。また、組の中で評議委員のなりてが少なくなった場合どうしたらいいかという質問に対しては隣の組どうしで出来るところから統合していったらいいのではというような意見がありました。今回のアンケートはここまでの段階で、このあと具体的にどうしたら活動が活性化していきけるかは、まとめきれいでいませんで、次期の評議委員の皆さんに色々な意見を出して頂きたいと思えます。後は、議案書の通りです。

広報部

三回の二区だよりの作成と発行。三回目はこの総会の議事録として四月に発行されます。今年度は名簿を作成しましたので、四月までには評議委員さんから皆さんの手元に渡ると思えます。今年度の新しい活動といたしまして、市のホームページの中に八幡台二区のホームページが出来ていますので、それを作成し、更新する活動を行いました。

保健体育部

竹園地区の体力づくり振興会という組織に属しております。その活動に携わりました。主な行事は、夏まつり、体育祭、市内駅伝大会、大山マラソンの走路員です。運動をして汗を流して健康であることの幸せを感じて頂けたらと思えます。その他は議案書の通りです。

福利厚生部

主な行事は九月に敬老の日お祝い金で商品券をお渡ししました。今年七十五歳以上の方が百五十名いらっしゃいました。十月に親睦会を計画しましたが、参加者が五名でしたので中止といたしました。高齢化ということもありまして、これからどうしていくかが課題となると思えます。

防犯防火部

主な活動は三つあります。
一つ目、毎月一回の防犯パトロール。
二つ目、年三回の防災資材倉庫点検。発電用のガソリンの入れ替えを行いました。消費期限のきれている食品はありませんでした。
三つ目、一月二十九日に自主防災訓練を行いました。

参加者は二十八名でした。このために防災リーダーが研修をうけてからの開催となります。訓練は、①消火器訓練、②AED 取扱訓練、③段ボールを使ったトイレ作成。災害時に特に重要になることからトイレを作成しました。参加者の皆さんが一生懸命に作って下さって、創意工夫が盛り込まれた傑作ができました。市の方からも褒められ、中には持って帰られる方もいました。

防犯パトロールは主に防犯灯が切れていないかを確認するのですが、十一月に全てLEDに変わりました。二ヶ所暗い所があり、何とか防犯灯を付けてもらうように市に頼み込んで基本的には約束出来ております。一つ目は電柱のないところですが、暗いの

で市にかけ合い電柱を設置し、防犯灯を付けてもらうことになりました。二つ目は郵便局の前。皆さんからも暗いと意見を頂いていましたので、申請し承認されましたが、未だに付けて頂けていません。どうしてなのかは連絡がなくよくわかりません。

環境衛生部

主な活動は、公園清掃を月二回行いました。南地区環境衛生委員会に出席、一回目は南公民館で二回目以降は市役所で行われました。ポイ捨てパトロールが年四回行われ、タバコの吸い殻などを拾い集め捨てるという活動です。

花植栽は子ども会と共催し春と秋に行いました。植栽後の水やりは四名で七月から約二カ月半当番制で行いました。

ねずみ駆除剤の申し込み受け付けし、個人宅まで配布しました。一月倉庫の備品の点検。二月二十九年度ごみと資源収集カレンダー配布。三月市民総ぐるみ清掃を行いました。

防災会

昨年度防災会として防災マニュアル補則が皆さんに配布されたと思いますが、それを受け今年度は災害が起きた時に、補則通りに出来るかという所から話が始まり、今期評議委員で地震を想定し建物等が倒壊した時に、「本当に外で動けますか」と聞いてみた所、ほとんど日中は出掛けていて家にいない。いるのは故島田会長と私（現小林会長）の二人だけでした。実際の経験がないので何とも答えのだしようがありませんが、新聞等によると自治体や消防署など大きな組織で具体的に動けるようになるには、だいたい1〜2日後。その間我々が何もできないのでは困るので、要援護者登録を、市にされている方（十名）を中心に安否を確認し、無事だったらその後のケアをする。もし、避難しなければならぬ事態であれば、その方たちの避難誘導を真っ先にやります。但し、二十二名の評議委員がパツと集められるかという無理な話なので、

出てくれる方三〜四名でもいいのでその方達にご協力頂いて安否確認と避難誘導を今年はやつていこうということになりました。あまり細かいことまで決められませんでしたが、まず真っ先に手を貸さないと動けない方（要援護者）を中心に活動していこうという話になりました。この話し合いをまとめた物が、皆さんにお配りした「防災会次第」から始まる2枚綴りの資料です。幸いなことに大きな災害等が起ころなかつたので、これまで具体的に動いていませんが、まず最初にやらなければならぬ事は何かを中心に決めたものです。

質問：伊勢原市の政策説明の会合が年二回あると思うのですが、市全体で何か新しく検討しているような事があればご紹介頂きたい。

小林会長：新東名高速道が出来ます。という話はありませんでしたが、その他新しい事はありませんでした。

第一号議案は承認されました。

第二号議案 平成二十八年年度決算報告について

（議案書 P 8〜9 参照）

質問：意見は特になく、承認されました。

第三号議案 平成二十九年年度役員承認について

（議案書 P 1・総会議案書訂正のお知らせ参照）

議案書の訂正があります。評議委員の交代のお知らせがあります。八組の高島さんから、村松しづさんに代わります。二十二組の松本教会長と十七組の塩原みどりさんの電話番号の訂正があります。新会長の松本毅さんの挨拶がありました。このメンバーで力をあわせれば何かできるのではないかと少し期待をしております。一年間力を合わせて色々な問題乗り越えていきたいとおもっておりますので、どうぞ皆さまよろしくお願い致します。

新役員は承認されました。

第四号議案 平成二九年度事業計画案・予算案

（議案書 P 15〜16・議案書訂正のお知らせ参照）

・会費収入見込み 3600円 × 269戸

＝ 968400円

・平成二十九年年度予算 計 1937735円

平成二十八年年度決算額と平成二十九年年度決算額の差額の主な要因は、今年度竹園地区夏祭りと親睦会が中止になり、使われなかったためです。但し活動をなくしてしまうということではないので、何らかの形で行事があれば福利厚生部で生かしていきたい。

質問：ここ数年親睦会参加者がすくない、あまり評判が良くないとよく話に聞きますが、親睦会の行事と書いてありますが、これは今までやってきたことをやらなければならぬということではなくて良いですよねの確認です。

小林会長：そのままやるということではなく、何か別の行事で簡単に出来る人が集まることがあったら、それに使っていたら構いません。

・第四号議案は承認されました。

子供会決算報告

・前年繰越金、竹子連繰越分配金及び行事参加費との合計で、133184円。

・支出合計 129591円

・残金 3593円は次年度に繰り越します。

・子ども会「役員」は「係」として出来る人が協力して運営していくことになりました。自治会との連携につきましては、連絡係が対応します。

連絡係 一七組 稲田さん

一六組 小林さん

今年度は児童全員が参加できる子ども会として、子ども中心に活動を行っていきけるよう企画運営してきました。来年度は竹子連がなくなり自治会の中に入れて頂きます。引き続きご支援ご協力をお願いします。

新役員の自己紹介・新会長挨拶



・新役員の自己紹介の後、新会長の松本猛さんの挨拶がありました。

どうぞ皆さま力を貸して下さい。よろしくお願い致します。

その他（小林会長より）

・市役所の公園緑地課の方から電話が掛かってきて、翌日八幡台公園で防災トイレの設置に関する説明を受けました。トイレは公園北西側入口付近に設置され、普

段腰掛となっていてトイレとしては使えなくなっています。また、北側には炊き出しが出来るような長椅子のベンチが設置されました。こちらも、普段は使えませんが、災害時炊き出しが必要になった場合は燃料を燃やし炊き出しできる構造だということです。おそらく四月になったら新会長さんの所に連絡があると思いますので、皆さんへの周知をよろしく願います。

・防災トイレは支給されるテントで囲いをして使用します。説明する時に市の方が持つてくると思われるので、防災倉庫の管理備品が増えますのでよろしくお願致します。

五、議長退任

以上で本日の議案はすべて終了しました。議長の小栗さんありがとうございました。

六、閉会の言葉

これで本日の総会を終了します。ありがとうございました。

活動報告

二十八年度会長 小林 定悦（十三組）

熊本地震から一年経ちました。益城町では、今でも復旧活動が続いているようです。八幡台二区では前年二十七年度の評議委員の方々がともすれば忘れがちな防災活動について討議し、防災本部を防災倉庫内に設置。即対応できる防災組織での運用のあり方をまとめてくれました。二十八年度は、これを受け防災本部に集結して、実行動に移るため、日中常に自宅、あるいは自宅周辺にいる方が何人いるのか問いかけたところ、休日を除けば二十二人の評議委員中、在宅なのは会長、副会長の二人だけで、他は勤めや通院その他で、ほとんど家にはいないという実態が浮かび上がりました。災害発生の時間帯にも異なりますが、このような実態では、災害発生後、組織だつて即対応するのは、まず不可能でしょう。地域の防災組織が活発に動くまで、一日あるいは二日と時間を要するので、災害発生後、この一日二日の間に即対応しなければならぬことは、要援護者の方々の安否確認と、避難誘導とあります。二十八年度評議は、震災時要援護者の避難支援について、暫定的ではありますが、対応の仕方を『災害時要援護者の避難支援について』と『避難支援者の行動手順』としてまとめ、評議委員の方の承認を受け、災害発生時に、対応することに決めました。

『避難支援者の行動手順』の概要は、

- 一、自身や家族の安全確保が基本
- 二、要援護者の安全確認
- 三、自宅に大きな被害がある時は、避難場所までの避難支援
- 四、自宅にいる要援護者の支援

次に自治会員の高齢化の問題があり、評議委員として、自治会活動に寄与できる人材の減少が危惧されるので、自治会と防災会組織の見直し検討時の参考にすため、評議委員のみの限定版ですが、アンケートを実施しました。問いと結果は次の通りでした。

問一、評議委になるかどうか本人の意志で決めることができるようにする。

賛成…五十九%、反対…十二%、わからない…二十九%

問二、評議委員になるかどうかを選択できる年齢は

何歳以上が適当？
七十五歳…二十三%、八十歳…七十七%

問三、評議委員の当番回数が何年に一回くらいなら納得？

五年…十一%、七年…五十%、八年…二十二%、十年…十七%

問四、問三の回答未満になった場合の措置は？

他の組との統合…八十七%、不明…十三%

問五、問六略

年齢的には、八十歳、当番回数は七年に一回、七年以下のときは、他の組と統合が圧倒的に多いようです。いろいろ課題があり、施策までにはまだ時間が必要ですが、二十九年度以降の評議委員会、検討をお願いしたいと思います。地域の方々、ご協力ありがとうございます。

年度中に評議委員（島田寛会長） 民生委員（安岡豊治郎さん） 会員（小松明子さん、高野一善さん、伊藤孝さん）の方々がお亡くなりになりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。合掌

初めての評議委員を経験して

副会長 小林 裕作 (十六組)

八幡台に引越してきて五年目で評議委員を務めさせて頂きました。

勤務の調整が出来ず、評議会を欠席することがあり評議委員のみなさんには、申し訳ない気持ちで一杯です。八幡台自治会では、高齢化問題に関し対策を強化していくかと思いますが、今後も微力ながら協力していきたいです。ありがとうございました。

会計係より

石井 (一組) 沼澤 (二十三組)



会計係をお受けしてから一年。不安になりつつも皆様からお預かりした会費を大切にし一つ一つ丁寧に仕事をこなしました。会費の流れや活動内容を知ることができました。無事に終える事が出来たのも、ご協力いただきました皆様のおかげです。本当にありがとうございます。

広報係より

星(三組) 加藤(二組)
浅野(十組)

広報を担当して、自治会の様々な行事に参加させて頂きました。参加することにより、八幡台二区の一員であることを再認識いたしました。また、高齢化が進んでいることを実感し、今後は地域の活動には積極的に参加したいと思いました。広報の活動を通じて貴重な経験を一年間させて頂き、ありがとうございました。

保健体育係より

細屋 (八組) 西川 (二十二組)
古住 (十二組) 笠原 (十九組)

竹園学区の体力づくりの活動に携わりました。主な活動は、夏祭り、体育祭、市内駅伝大会、大山マラソンの走路員等です。

夏祭りは、天候不順の為中止となりましたが、体育祭は、体育館で実施され、八幡台二区は「〇名ぐらい」の参加があり、盛大ににぎわいました。参加された選手の大活躍により、「優勝」という輝かしい成績を収めることができました。

四月当初は与えられた役割を果たすことができただろうかと不安であり、霧の中にいるようでしたが、自治会の皆様に温かく支えられ、つつがなく一年を終えることができました。

「一年間、ありがとうございました。」

防犯防火係より

中原(四組) 内海(六組)
小栗(二十組) 稲森(二十一組)



防犯防火係の課題業務で、最も精力を注ぐイベントである自主防災訓練を一月二十九日に実施しました。皆様のご協力により、二十八名のご参加を得て所期の目的を達せられたと考えています。災害予知は難しく、予防はできない。万一発生したら、最小限の災禍で切り抜けるべく、身近な防災品の活用、救命処置に慣れしておくことを主眼を置いて手配しました。

毎日見ている消火器は使ったことがない。まして公的施設でよく見かけるAEDは、救命具と知りつつも使い方は全く知らない。被災時にはトイレは最も心配されることです。この現実を全員が体験して、万一のときに役立てようと考えました。段ボールトイレ制作は、初対面の方とも協力することで、人のつながりが盛り上がり醸成でき、その作品には参加者の創意工夫が盛り

込まれ、市の関係者からお褒めの言葉をいただいた傑作もできました。



いざ災害が発生したら、面識のない方も協同することで初めて対応ができます。協同作業は予行演習としての成果を十分に得られたと考えています。今年秋には、防犯灯が全面的にLED化され、明るくなり、故障もなくなりました。新設は電柱につけることが条件で、高い壁がありました。新設は電柱の新設が認められ克服できました。まだ約束が未実施の場所(郵便局前)が残されていることが残念です。評議員の皆様のご協力のおかげで、無事に任務を全うできました。特に小林定悦会長、防犯指導員の原さん、防犯指導員の赤石さんは、毎月のパトロールと年数回の防災倉庫点検の全てのイベントに全面的に参加され、ご指導、ご援助をいただきました。どうもありがとうございました。

福利厚生係より



若尾 (五組) 山田 (十七組)

九月敬老の日の御祝品贈呈、十一月は親睦会を予定しましたがいまだ、会員の方の出席が五名でしたので中止にしました。五十年近く続いていた親睦会でしたが時代と共に会員の入れ替りや、高齢化など中々むずかしい局面に立たされています。

福利厚生としてどこまで協力していくかが、今後の課題になりそうです。

一年お役に立てず申し訳なく思っています。ご協力いただきました事感謝しています。ありがとうございました。

環境衛生係より

高橋 (十四組) 神保 (十一組)
秋田 (十五組) 下屋敷 (十八組)

四月から役員をお受けして解らないことが多くとまどいましたが、皆様の協力のもと一年を終える事が出来感謝しております。一年役員をやった感じたことは八幡台二区は広範囲地域ですので役員だけで公園、道路を綺麗に保つことはとても困難だということです。

公園を利用される方のゴミの持ち帰り、犬を散歩させている方の排泄物の後始末と持ち帰りのご協力をお願い致します。個々の家の廻りの清掃はともに行き届いていると思います。これからも八幡台二区の美しい街づくりの為協力をお願い致します。いたらない点も多くあったと思いますが、一年間ありがとうございました。

子ども会より



坂倉 (二十三組) 齊藤 (二十一組)
内藤 (十六組)

今年度子ども会ではボウリング大会やラジオ体操など多くの活動を行うことができました。

また昨年に続き、夏休みには星空観察や絵画、書道ご指導をいただき、皆で楽しく宿題にとりこむことができました。初めての試みとして焼き芋にも挑戦しました。自治会の皆様にご協力いただき、おいしくお芋をいただくことができました。ありがとうございました。

今年度は全員が参加できる子ども会として活動してまいりました。新たな参加者も増え子ども達が責任をもって活動する姿がありました。一年を過ぎ子どもたちが大きく成長した様子がみられ大変うれしく思いました。

来年度も全員が参加できる子ども会として活動していきます。引き続き温かいご支援、ご協力をお願いいたします。

お知らせ

評議委員の交代

定期総会議案書 八組 高島 和夫様

変更後 八組 村松 しづ美

訃報

十一組 高野 一善様
十四組 伊藤 孝様

転出

十七組 小川 恭子様